

# 2

## 料金差の導入による混雑緩和や利便性向上の実例

駐輪場を変える
料金

### 柔軟な料金設定による可変性

— 料金差で混雑を緩和し快適な利用へ —

課題

一律料金では  
**「近くて便利な場所」**に  
利用が集中

▶

対策

**可変料金制の導入**  
利用者の「選択肢」が増えれば、  
駅近に集中しない

▶

効果

利用者満足度の向上  
→ **利用の分散**  
→ **駅周辺の混雑緩和**

西八王子駅北口

西八王子駅北口第4

| 駐輪場名称     | 料金                            |
|-----------|-------------------------------|
| 西八王子駅北口第4 | 4h/50円 (一時専用)                 |
| 西八王子駅北口   | 8h/100円 (一時)<br>2500円/月 (定期)  |
| 西八王子駅北口第3 | 12h/100円 (一時)<br>2200円/月 (定期) |
| 西八王子駅北口西  | 24h/100円 (一時)<br>2000円/月 (定期) |
| 西八王子駅北口第2 |                               |
| 西八王子駅南口   |                               |
| 西八王子駅南口第2 |                               |
| 西八王子駅南口臨時 |                               |

本取組みは、西八王子駅周辺の自転車駐車を対象として、可変料金制の導入による利用分散効果を検討したものである。従来の一律料金制は「駅近で利便性の高い駐輪場」への需要集中を招き、混雑や利用機会の不均衡を生じさせてきた。そこで当該地域において、駐輪時間・駐輪場の立地条件に応じて料金を柔軟に設定することとした。

具体的には、駅前に近接した駐輪場は利便性を反映した料金設定とし、やや離れた施設は低廉な料金とすることで、利用者に多様な選択肢を提示した。これにより、利用が特定箇所に集中せず駅周辺全体における混雑緩和が期待できる。

この料金設計は、交通需要マネジメント (TDM) の観点からも有効であり、公共空間の効率的利用と都市交通の円滑化に資する可能性がある。また、定期利用と一時利用を併存させた料金体系は、通勤・通学利用者と短時間利用者の双方に適応し、利用者満足度の向上をもたらすと考えられる。

本取組みは、今後の駅前駐輪場運営における新たなマネジメント手法の実証的知見となりうる。将来的には、他都市への展開や、駐輪需要予測モデルとの統合的運用を通じて、持続可能な都市交通基盤の形成に寄与することが期待される。